

3月中間整理に向けた 論点の全体像と今後の進め方

平成23年2月25日

農業再生の中間整理へ向けた検討の方向(たたき台)

「攻め」の農業へ、5年間で加速。

1 政策パッケージの確立と集中展開

論点1: 持続可能な経営実現のための農業改革のあり方

競争力・体質強化

論点4: 農林水産業の成長産業化

論点2: 消費者ニーズに対応した食品供給システムのあり方

「産業としての農業」の実現

- ・ 市場の拡大(輸出、新用途)と参入の促進
- ・ 集約化、6次産業化、経営革新、品種改良
→生産性向上、品質訴求(高付加価値化・食味)

攻めの担い手実現

人材育成(経営承継、
新規就農促進等)
成長産業化(技術等)

農地
流動化・集約化
(出し手の理解促進等)

流通効率化
農協その他

食の安全
消費者理解
(表示等)

土地利用型農業(水田作、畑作)の立て直しを最重要課題としつつ、他品目(畜産、野菜・果樹)の課題も検討

地域振興

「関連政策の集約と
官民協力の推進にかかる調査」

「地域社会を支える農業」
の維持

- ・ 中山間地域対策
- ・ 他分野との連携・融合
(医・福・環・観・企・教)
- ・ 社会保障との連動
- ・ 各省連携の重点化
- ・ 積極的な官民協力 等

直接支払制度

論点3: 戸別所得補償制度のあり方

2 農業再生と高いレベルの経済連携を両立

論点3: 戸別所得補償制度のあり方

論点5: EPA推進への対応

「消費者負担から納税者負担への移行の検討」(包括的経済連携に
関する基本方針)

【国民の理解と安定的財源の確保】

↓
直接支払制度のあり方の検討

【競争力強化の加速策とセーフティネット措置】

↓
高いレベルの経済連携の実行

↓
開国による恩恵の分配メカニズムの構築

上記の検討に資するため、「各国・地域における農政と運用実態にかかる調査」を実施。

食と農林漁業の再生実現会議：当面の進め方(案)

1月

第2回実現会議(1月21日(金))

- 持続可能な経営実現のための農業改革のあり方(ヒアリングの概要紹介)
- 水田農業を中心とする土地利用型農業の競争力強化をテーマに、担い手、農地、流通に関し集中討議

第5回幹事会(1月28日(金))

- 有識者ヒアリング(流通(農協)、生乳・乳業(酪農家)、小麦・小麦粉(製粉企業)、砂糖・製糖(さとうきび生産者))
- タスクフォースの設置

2月

第6回幹事会(2月4日(金))

- 有識者ヒアリング(成長産業・流通(小売)、六次産業化(酪農家)、林野、水産)

第7回幹事会(2月23日(水))

- 意見交換
(第3回実現会議への報告案)

タスクフォース
(内閣官房参与ヘッド)

- ・ 林野 (2月8日(火))
- ・ 水産 (2月9日(水))
- ・ 農地流動化(2月15日(火))
- ・ 輸出促進、成長産業化(2月17日(木))
- ・ 品目別(畑作、酪農・畜産)
- ・ 地域振興

第3回実現会議(2月25日(金))

- 第2回実現会議(攻めの担い手論、農地流動化論)のフォローアップ
- 食品供給システム、成長産業化等について集中討議
- 農業再生の中間整理に向けた検討の方向について提示

3月

幹事会(随時開催)

- 直接支払制度について論点提示
- 有識者ヒアリング
- 集中討議(中間整理素案)

適宜、タスクフォースでの議論を報告

- ① 畑作、酪農、畜産
- ② 地域振興

第4回実現会議(3月下旬)

- 農業再生の中間整理
(攻めの担い手像、直接支払制度、農地流動化・集約化、流通改革、地域振興、その他(品目別))

実現会議(GW前後)

- 農業再生の基本方針素案

実現会議(6月)

- 農業再生の基本方針